

氏名

守山 拓弥 (MORIYAMA Takumi)

研究室名

農村生態工学研究室

TEL

028-649-8639

FAX

028-649-8639

E-Mail

t-moriyama@cc.utsunomiya-u.ac.jp

生年月

1975 年 12 月



最終学歴

東京農工大学大学院連合農学研究科博士課程

学位

博士 (農学)

専門分野

農村生態工学

研究発表

- 1 寺畑地区の事例に見る都市農村交流による水利施設の利用・管理の取組み (農業農村工学会誌・2012)
- 2 降下および遡上による幹線水路から支線水路へのウグイの移入 (農業農村工学会論文集・2011)
- 3 地下水を水源とする保全池における冬期のホトケドジョウの分布パターン (魚類学雑誌・2010)
- 4 「逆面エコ・アグリ」の事例に見る地域住民主体の順応的管理の取組み (農業農村工学会誌・2010)
- 5 農業用の小河川、農業水路および河川間に形成された水域ネットワークにおけるウグイの移動-栃木県西鬼怒川地区における事例- (農業農村工学会論文集・2008)
- 6 栃木県西鬼怒川地区の湧水河川におけるホトケドジョウの季節移動 (魚類学雑誌・2007)

主たる授業科目

田園生態工学, 田園生態工学演習, 環境評価システム論 (共同), 測量実習 (共同)

学協会活動

農業農村工学会, 日本魚類学会, 農村計画学会

社会活動

環境省・国土交通省・農林水産省「自然再生専門家会議」委員 その他多数

受賞等

2016 年農村計画学会 ベストペーパー賞

自己紹介

1975 年東京生まれの茨城育ち。子供のころは近所の牛久沼で釣りばかりしていましたが、そのまま大人になり、今でも研究で魚捕りをしています。調査後に夕焼けの空を見上げていると、ふと子供のころと変わっていない (成長していない?) 自分に気が付き愕然とすることがあります。でも、好きなことはやめられません。

最近では、研究対象を陸上生物へと広げ、特にフクロウの研究に力をいれつつあります。フクロウの愛くるしい瞳に惚れて、その行動を明らかにしようと様々な手法にトライしています。

一緒に保全活動をしている地元の農家さんと、保全や地域おこしの夢を語りあう時間が一番楽しい今日この頃です。

研究室紹介

農村生態工学研究室では、野外で生物を観察する「フィールドワーク」により、里山にすむ生物の生態や保全の研究をしています。

卒業研究では、実際にフィールドワークに取り組み、その技術を身に着けます。さらに、卒業論文の作成や発表を通じてデータの解析や論理的な考え方のトレーニングをします。大学院では、卒業研究で培った技術、考え方を基に、自らテーマ選定、調査設計にも挑み、オリジナリティーのある修士論文の作成を目指します。

フィールドワークの醍醐味は、現場で自ら見聞きしたことを基に、だれも取り組んだことのないテーマを見つけ出し、自らの手で明らかにしていくことです。こうした経験は、「自ら考える」スキルを高める恰好のトレーニングとなります。フィールドワークを楽しみながら、科学的な考え方や技術を身につけましょう。

研究テーマ一覧

- 1 水田水域における水生生物の生態と保全に関する研究
- 2 フクロウを始めとする里山に生息する生物の生態と保全に関する研究
- 3 生物多様性を利活用した農村振興に関する研究